



2017年11月3日(金祝)～26日(日) 平成29年度(第72回)文化庁芸術祭 明後座

 お登勢 黒木 瞳	 伊助 寛 利 夫	 坂本龍馬 藤本隆宏	 有馬新七 渡辺大輔	 お梶 桜乃彩音	
 おりょう 田村芽実	 番頭佐市 深沢 敦	 医者玄庵 伊藤正之	 五十吉 河相我聞	 お定 沢田亜矢子	
 川俣しのぶ	 高橋浩二郎	 楊原京子	 村井麻友美	 西ノ園達夫	 森川隆士

八代進一 石井テルユキ 石原身知子
西岡優妃 川越 諒 荻野貴継 田邊和也 輝海健太 杉本海風 三嶋健太
積田裕和 川手祥太 石黒 仁 西田雄紀 内田敦美

原作 織田作之助「螢」 司馬遼太郎「竜馬がゆく」 脚本 北條 誠より
脚本・演出 わかぎゑふ
美術：倉田克巳 照明：高山晴彦 音楽：佐藤 心 音響：岡田俊道 殺陣：亀山ゆうみ 所作指導：松本幸龍 義太夫指導：鶴澤津賀寿 振付：ラッキィ池田
衣裳：阿部 浩（松竹衣裳） かつら：丹羽峯子（黒木 瞳）／八木茂樹（八木かつら） メイク：青木満寿子 大道具・照明・音響：明治座舞台（株） 小道具：藤浪小道具
演出助手：平戸麻衣 舞台監督：中島幸則・白井真由美 クリエイション・アドバイザー：黒木 瞳
宣伝美術：鈴木利幸 宣伝写真：下村一喜／江川誠志 宣伝（明治座）：三輪田 猛・田中佑子 プロデューサー：羽賀麻衣子・若山裕美 製作：明治座

2017年11月3日(金祝)～11月26日(日)
[開演時間] 12:00/17:00 [料金(税込)] S席(1階席・2階前方席)12,000円 A席(2階後方席)8,500円 B席(3階席)6,000円

会員限定 インターネット先行予約	明治座 倶楽部 9月9日(土)10:00 ～15日(金)17:00 詳細と入会方法は明治座ホームページへ	電話先行予約 9月16日(土)10:00～17:00 一般販売(電話・ネット予約) 9月17日(日)10:00～ 窓口販売・予約引取 9月20日(水)10:00～																																																																																																					
<table border="1"><tr><th>11月</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>17</th><th>18</th><th>19</th><th>20</th><th>21</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th><th>25</th><th>26</th></tr><tr><td></td><td>祝</td><td>土</td><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>祝</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td></tr><tr><td>12:00</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>17:00</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr></table> ※6歳以上有料／5歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください		11月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	祝	金	土	日	12:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	明治座チケットセンター (10:00～17:00) 10名様以上のグループ観劇 予約受付中(明治座営業部)	03-3666-6666 03-3660-3941
11月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26																																																																															
	祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	祝	金	土	日																																																																															
12:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																															
17:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																															

プレイガイドお取扱 い	●チケットぴあ http://t.pia.jp/ 0570-02-9999(Pコード:459-521) ●イープラス http://eplus.jp/ ●ローソンチケット http://l-tike.com/ 0570-084-003(Lコード:31780) 0570-000-407[オペレーター対応 10:00～20:00] ●セブンチケット http://7ticket.jp/ ●CNプレイガイド http://www.cnplayguide.com/ 0570-08-9999[オペレーター対応 10:00～18:00] ●JTBエンタメチケット http://www.jtb.co.jp/ticket/ JTB JTB総合提携店 0570-030-311[オペレーター対応 10:00～18:00] ●楽天チケット http://ticket.rakuten.co.jp/ ●カンフェティ http://www.confetti-web.com/meijiza 0120-240-540[オペレーター対応・平日 10:00～18:00] ※0570で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHS・IP電話からはご利用いただけません。	インターネット予約 席とりくん 検索 https://web.meijiza.com/ 明後座 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号 ○浜町駅(都営新宿線) ○水天宮前駅(半蔵門線) ○人形町駅(都営浅草線・日比谷線)
----------------	---	---



京の螢火

原作 織田作之助「螢」 司馬遼太郎「竜馬がゆく」 脚本 北條誠より
脚本・演出 わかぎりふ

幕末の動乱に揺れる京都。

伏見にある船宿、寺田屋に嫁いで来たお登勢は、姑や義妹に辛い仕打ちをうける毎日を過ごしていた。

主人の伊助は掃除好きの変わり者で、浄瑠璃に目がなく商売には見向きもしない。その分もお登勢が店を切り盛りしなければならなかった。

ある日薩摩の若い藩士が斬り合う「寺田屋騒動」が起きる。

志半ばに死んでいく若者たちを目の当たりにしたお登勢は心を動かされ、次第に尊王攘夷派の志士たちを保護するようになっていく。坂本龍馬も、彼女の人となり惚れこみ定宿として逗留し、恩人の娘であるおりようを養女にしてくれるように頼むほどだった。

時代の波が大きくうねる中を、持ち前の才気と優しさで生き抜いていくお登勢は、いつの間にか志士たちの憧れの女として大きな存在になっていくのだった。

一九七一年（昭和四六）年に明治座にて上演された「京の螢火」お登勢と竜馬」を元に、脚本家・演出家として活躍するわかぎりふが新たに書き下ろし、新作として上演いたします。伏見の船宿「寺田屋」の女主人であるお登勢とその夫である伊助を中心とした夫婦の物語として再構築。坂本龍馬や、のちにその妻となるおりよう、幕末の志士たちなど、実在の人物も多数登場します。